

# 交通安全とやま



No.398 令和7年春号

発行者／公益財団法人富山県交通安全協会・交通安全活動推進センター

第65回交通安全全国国民運動中央大会が開催され富山県から交通安全荣誉賞「緑十字金章」2名、「緑十字銀章」6名、並びに「交通安全優良団体等」5団体が表彰されました。



## 交通安全への提言

### 自転車の交通安全運転及び事故防止に関するご提案



富山県自転車商業協同組合  
理事長 松田 英樹

1 ヘルメットの着用  
自転車は、環境に優しく、健康にも良い移動手段として幅広い年齢層の多くの人に利用されています。しかし、便利さが増す一方で、交通事故や安全問題が依然として大きな課題です。明確な安全意識を持ち、交通事故を未然に防ぐ為のご提案をこの場をお借りして、させていただきます。

2 自転車の点検と整備  
定期的な自転車の点検と整備も事故防止に不可欠です。特にブレーキやタイヤの状況を確認することは、自転車の安全運転に直結します。当組合員である地域の自転車専門店と連携し点検イベントを開催することにより、利用者の安全意識及び事故防

3 交通ルールの把握  
注意を高めることが可能です。

自転車利用者に対しても交通ルールの把握をして頂く事が重要です。特に子供や初心者に対しては、交通ルールを学ぶ機会が大切です。学校教育の中に自転車安全教室などを組み込むことで、早期からの交通安全に対する意識向上に有効であると思います。また、当組合員におきましては、県警本部交通企画課に講師をお願いし交通ルールに関する勉強会を実施しています。自転車に携わるうえで利用者のかたと距離感の近い私達が、しっかりとルールを把握し安全意識向上の為に取り組んでいます。

終わりになりますが、自転車の安全運転及び事故防止は、多岐にわたる要素が複雑に絡み合っていますが、個々の利用者の意識向上と、社会全体の取り組みが重要です。これまでご提案をさせて頂いた以外にも、長年にわたる課題である自転車専用レーンの設置等のインフラ整備など地域全体が協力し、安全で快適な自転車環境の構築も大切です。

私事となりますが、最近のお気に入り自転車利用促進のキャッチフレーズがございます。

「踏み出せば、もう楽しい気分！」まさに自転車の魅力を端的に表現しています。冒頭にも申しましたが、自転車は環境に優しく健康に良く、そして楽しい乗り物です。

その自転車を利用し楽しむためにも安全運転と事故防止の意識向上により、安心して走行できる社会を自転車利用者の皆様が目指して頂ければと思っております。

# 第65回交通安全国民運動中央大会の開催

～富山県から8個人・5団体が栄誉の受賞～



秋篠宮皇嗣殿下のおことば



交通栄誉章緑十字金章及び銀章の表彰（代表者）

第65回交通安全国民運動中央大会が1月14日、15日の両日開催されました。一日目はホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）で分科会が、二日目は文京シビックホール（東京都文京区）で本会議が開催されました。二日目の本会議には、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、来賓を始め交通栄誉章受賞者や関係者など千八百人余が集いました。国歌演奏、交通事故犠牲者に対する黙とうに続いて、秋篠宮皇嗣殿下のおことばや石破茂内閣総理大臣など来賓のあいさつの後、多年にわたり交通安全活動等に功労のあった個人や団体に対する表彰と交通安全スローガン、交通安全ファミリー作文の最優秀受賞者に対する表彰などが行われました。富山県からは8個人、5団体が晴れて栄誉を受賞されました。受賞された皆様のご努力に対する敬意を表し、心よりお祝いを申し上げます。受賞者は次のとおりです。

## 交通栄誉章「緑十字金章」

### 交通安全功労者

## 交通栄誉章「緑十字銀章」

### 交通安全功労者



池田 静夫  
(射水)



寺田 祥子  
(魚津市)



草野 久義  
(黒部)



西森 祐眞  
(高岡)



藤元 富雄  
(高岡)



## 優良安全運転管理者



太田 和也  
(高岡)



松嶋 幸夫  
(立山町)

## 優良運転者



佐伯 清  
(富山中央)



## 交通安全優良団体

呉羽校区交通安全母の会（富山西）  
会長 木原 百合子

## 交通安全優良事業所

黒部市農業協同組合（黒部市）  
代表理事組合長 平野 正義

## 交通安全優良学校

富山県立滑川高等学校（滑川市）  
学校長 金田 幸徳

## 優良交通安全協会

氷見市交通安全協会（氷見市）  
会長 大澤 茂

## 優良安全運転管理者協会協議会

砺波安全運転管理者部会（砺波市）  
部会長 飯田 修平

## 令和7年使用年間スローガン

【運転者（同乗者を含む）への呼びかけ】

守ろうよ チャイルドシートで 子の未来

【歩行者等への呼びかけ】

危険です ながらスマホで 踏むペダル  
【ごもたちへの交通安全の呼びかけ】  
青だけど 自分の目で見て たしかめて

# 令和6年中の富山県内の交通死亡事故の特徴（概数）

令和6年中の県内の交通人身事故の発生件数は、平成13年以降24年連続で減少しました。交通事故死者数は令和5年と比べ9人減少し戦後最小の22人となったものの、全死者に占める高齢者の割合が72.7%と非常に高くなっています。人身事故件数・死者数等の減少に油断することなく交通安全の実践をお願いします。

## □ 令和6年中の富山県の交通事故発生状況（概数）

区 分	令和6年	令和5年	増減数	増減率
人身事故件数	1,858件	1,878件	-20件	-1.1%
死者数	22人	31人	-9人	-29.0%
高齢死者	16人	18人	-2人	-11.1%
負傷者数	2,130人	2,108人	+22人	+1.0%
物損事故件数	29,543件	28,885件	+658件	+2.3%
総事故件数	31,401件	30,763件	+638件	+2.1%

## □ 交通死亡事故の特徴

- 死者（22人）の7割以上が高齢者

高齢者（65歳以上） 16人：72.7%	その他 4人：27.3%
-------------------------	-----------------

- 死者（22人）のうち歩行中が半数以上を占める

歩行中の事故死者 12人：54.5%	その他 10人：45.5%
-----------------------	------------------

- 道路横断中の死者（8人）の多くが高齢者

高齢者（65歳以上） 7人：87.5%	その他 1人：12.5%
------------------------	-----------------

- 道路横断中の死者（8人）の全てがドライバーから見て歩行者が右から左への横断中

右から左 8人：100%
-----------------

- 歩行中の死亡事故（12人）の多くが夜間に発生

夜間 10人：83.3%	昼間 2人：16.7%
-----------------	----------------

- 事故（21件）原因の多くが前方不注意

前方不注意 10件：47.6%	横断歩行者妨害等 6件：28.6%	その他 5件：23.8%
--------------------	----------------------	-----------------

※ 夜間の運転は、控えめなスピードとライトのこまめな切り替えで歩行者などを早期発見し事故防止を図りましょう。夜間に外出するときは、きらめき用品（LEDライト、バンド等）を身につけて自分の存在をアピールしましょう。

## 令和7年 春の全国交通安全運動の実施

広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、県民一人ひとりが交通ルールを守り、相手に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持つて交通マナーを実践するなど交通事故の防止に寄与することを目的として春の全国交通安全運動を実施します。



### 期 間

令和7年4月6日（日）～4月15日（火）  
〔全国指定日〕：交通事故死ゼロを目指す日  
4月10日（木）

### スローガン

ゆずりあつ 心でひろがる 無事故の輪

### 運動重点

- ① こどもを始めとする歩行者が安全に通ることができる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- ② 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- ③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

### 活動重点日

- ・ 4月7日（月）…こどもと高齢者の交通安全の日
- ・ 4月8日（火）…横断歩道おもいやりの日
- ・ 4月9日（水）…シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日
- ・ 4月10日（木）…交通事故死ゼロを目指す日（全国統一指定日）
- ・ 4月11日（金）…絶対にしない！させない！飲酒運転根絶の日
- ・ 4月14日（月）…自転車安全利用の日

## 県内すべての年長園児に 傷害保険付き キーホルダーを配布

2月21日（金）トヨタモビリティ富山（株）より、県内の保育園等に通う園児の交通安全を願って「傷害保険付きキーホルダー」を当協会にご寄贈いただきました。

寄贈式は高岡市にある認定こども園いずみ幼稚園において行われ、品川社長より当協会山本専務理事に目録が手渡されました。寄贈式後には高岡警察署と高岡交通安全協会による交通安全教室も開かれ、年中園児33人が横断歩道の渡り方を学びました。ご寄贈いただいた「傷害保険付きキーホルダー」は、県下15の支部交通安全協会などを通じて7年度に年長協会など県内すべての園児に順次配布します。



園児のかばんに「傷害保険付きキーホルダー」をつける品川社長（左）と山本専務

園児に配布する「傷害保険付きキーホルダー」



交通安全年間スローガン（歩行者・自転車）

～危険です ながらスマホで 踏むペダル～



# 各地区の交通安全活動状況

これらの活動は皆様方からいただいた協力金・賛助金で行っています。これからもご理解とご協力をお願いいたします。



各地区の交通安全活動はこちらからもご覧になれます。

## ◆高岡交通安全協会◆



横断歩道横断中の歩行者死亡事故発生に伴う反射材着用の啓発活動を行い、歩行者には反射材の着用を、運転者には横断歩道付近での安全確認の励行と減速を呼び掛けました。

## ◆立山町交通安全協会◆



「きらめき用品（LEDライト・バンド等）を身に付けて、ピカッと目立って自分の存在をアピール新米け！」を合言葉に町民提供の新米とLED用品等を配布し、交通事故防止を呼び掛けました。

## ◆黒東交通安全協会◆



あさひ総合病院の玄関先において、訪れた人に年末の運動チラシと交通安全マスコットを配布して、横断歩道での歩行者優先と一時停止の励行を呼び掛けました。

## ◆氷見市交通安全協会◆



氷見市交通安全祈願祭を実施しました。交通事故の犠牲者に対し黙とうをした後、大森浩宮司が祝詞を読み上げ、各関係機関の代表が玉串を奉奠し市民の無事故を祈りました。

## ◆富山中央交通安全協会◆



「ちびっ子サンタとタヌキの交通指導員ポン太」が事業所を訪問しました。ちびっ子サンタは元気な声で交通安全メッセージを読み上げ、安全運転を呼び掛けました。

## ◆黒部市交通安全協会◆



4月に小学校へ入学する年長園児を対象に、かるた遊びで交通ルールやマナーを学ぶ、新春「もうすぐ1年生」交通安全かるた大会を開催しました。

## ◆砺波市交通安全協会◆



警察署の玄関に「交通安全ジャンボ門松」とその横に門松にちなんで「赤信号で待つ・一旦止まって待つ・横断歩道で待つ」の三つの「待つ」を記した立札を設置し交通事故防止を願いました。

## ◆富山南交通安全協会◆



くまのこども園において「交通安全節分の集い」を開催しました。交通安全教室の後、園児達は交通事故をおそす悪い鬼に新聞紙で作った新聞豆を投げて退治しました。

## ◆魚津市交通センター◆



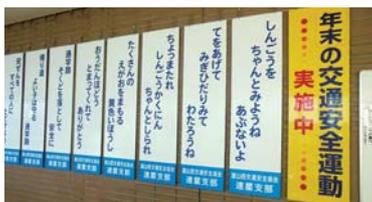
「安全・安心年末パトロール」を実施しました。市役所で出発式を行った後、駅前の飲食店街を練り歩き、夜間の反射材利用や飲酒運転根絶等を呼び掛けました。

## ◆南砺市交通安全協会◆



「安全運転」先生ありがとうございましたと作戦として、4年生児童が校長室を訪問し、教職員らに椿をモチーフにしたクッキー等を手渡し「安全運転お願いします」と呼び掛けました。

## ◆富山西交通安全協会◆



年末の交通安全県民運動期間中、ふれあい館2階の通路に、速星小学校の児童が作成した交通安全スローガンの優秀作品を掲示し、会館訪問者に交通安全を呼び掛けました。

## ◆滑川市交通安全協会◆



滑川ライオンズクラブから交通ルール等が掲載された「中学生の交通安全」副読本350部が当協会に寄贈されました。いただいた副読本は、4月以降に行う春の新入学生自転車教室で活用します。

## ◆小矢部市交通安全協会◆



「飲酒運転追放コンサート」を開催しました。ちびっ子警察隊メルヘンポリスは、一生懸命練習した演奏と歌を披露した後、飲酒運転追放を大きな声で呼び掛けました。

## ◆射水交通安全協会◆



大島支部管内の飲食店に飲酒運転根絶のチラシと「ハンドルキーパーのシンボルマーク」を貼り付けたシクラメンの鉢植えを配布し、飲酒運転根絶を呼び掛けました。

## ◆上市区域交通安全協会◆



健康福祉総合センターにおいて、協会職員らが「夕暮れ時と夜間は、反射材とLEDライトの有効活用を！」と呼び掛けながら、啓発チラシやLEDライト等を配布しました。